

鈴鹿市立天栄中学校 第2回学校運営協議会 報告書

1 日時 令和5年6月8日(木) 9:00~10:30

2 場所 天栄中学校被服室

3 開会挨拶(委員長)

授業を参観することができるので楽しみである。

4 授業参観

5 授業参観について(感想等)

- ・ロッカーの片付き具合に注目した。
- ・教室後方の掲示物で、立体的なクラスがあり目を引いた。
- ・下駄箱に図書案内が掲示されており面白かった。
- ・工作室の様子で、生徒がフレンドリーで嬉しかった。
- ・生徒の机が小さいのではないか。
- ・他の小学校で、机の天板を拡張する物を付けているところがあった。
- ・マスク着用はどのような様子か。
 - 熱中症対策や、互いの顔が見えるようにするために、なるべく外す方向で考えている。教師が率先して外している。しかし、なかなか外せない生徒もいる。
- ・目だけでなく相手の表情を見られることが大切である。
- ・エアコン等、環境的に恵まれている。
- ・教室後方に個人目標が掲示してあった。これを見るとその子の人となりが良く分かる。生徒同士が分かり合える。
- ・クラス目標が担任の名前に合わせたものになっていて良かった。
- ・小学生と比べて、中学生は落ち着いて学んでいた。
- ・グループで協力し合い、生徒同士で話し合うことが良かった。
- ・グループでの討議が良かった。人の意見を聴くことができる。
- ・3~4人のグループで、誰もが学習に向かっていた。
- ・授業の中でグループを入れる割合はどれくらいか。
 - 極力、グループを入れるようにしている。特に後半にグループでの学び合いが多い。
- ・グループが苦手な子もいると思うので、個別のフォローを心掛けてほしい。
- ・グループで和気あいあいと学び合っていた。
- ・授業の難易度を中くらいにすると、学習についていけない生徒が出るのではないか。
- ・ICT操作の様子を見ると、生徒によって差が大きいと感じるが。
 - 使うことが目的になってはいけませんが、効果的な場面では積極的に使うようにしている。
- ・ICTを活用した授業で分かりやすい。一方で、用意したことに縛られて「今日はここまで」となってしまうと、大切なことが出てきたにもかかわらず用意したことに引っ張られてしまうのではないか。
- ・今日は何を勉強しているのかがわかるように、一言でも黒板に書いておくと良い。
- ・ICTを活用した授業が行われていてうらやましい。
- ・パソコンを埃がでる場所で使うと故障につながらないか。

6 報告・協議事項

(1) 学校の様子

教頭より、スライドショーを用いて紹介がなされた。

- ・「つながり」と「まなび」のある学校を、授業改革を中心に据えて実現したい。
- ・グループで互いの考えを聴き合い協力して乗り越える課題の設定に取り組んでいる。
- ・一人ではあきらめてしまう生徒も、仲間との学び合いの中で人の考えを知って取り入れたり、考えを深めたりすることができる。
- ・5小学校から集まってくる生徒同士の「つながり」を強める取り組みを行っている。
- ・学校支援ボランティアの支援による地域との「つながり」や、各行事を通じた生徒同士の「つながり」が生まれている。
- ・旧来の一斉授業だと、子どもの困り感を見取ることが難しかった。グループで学ぶことで、子どもの様子が良く分かる。子どもの困り感を見取ることができる。教師が子どもをしっかりと見て、どの子も一人にしないように配慮していく。

(2) 教育活動について【事項書参照】

(3) 幼小中連携教育 【事項書参照】

(4) 意見交換

- ・PTA 廃品回収やバザー等、コロナ禍で活動できなかった。
- ・徐々に再開しているが、保護者の価値観が変わっている。
- ・活動の意味、意義をきちんと説明していかないといけない。
- ・奉仕が見合うかもあるが、つながりという点でも考えていきたい。
- ・地域の取り組みを、学校だよりを通じて子どもたちに知らせていってほしい。感謝の気持ちを聞くことができれば張り合いがある。
- ・環境整備の取り組みで、自治会とPTAが連携することはできないか。
- ・SNSトラブル防止についてどのように取り組んでいるか。
- ・SNSトラブル防止については、保護者等も学ばなければならない。
- ・駐車場不足等、学校の必要性についてどのように声を上げていくか考えていく。

7 CS推進コーディネーターより

- ・実際に子どもの姿を見れたことが良かった。コロナ禍でグループでの学び合いができなかったが、5類移行後徐々にできるようになっている。このように「つながり」と「まなび」のある学校づくりが行われている。
- ・ICTにはプラス面、マイナス面の両方がある。メディアリテラシーについて学んだ上でICTを学ぶ道具として活用していきたい。
- ・学校は学校だけではやっていけない。地域とのつながりが必要である。
- ・今後、出された課題に対して、どのように具体化していくかが大切である。

8 その他 【事項書参照】

次回開催日 令和5年10月5日(木) 15:00~16:30

場所 栄小学校体育館